

天文電報の話 (6)

(第12巻179頁より續く)

上 田 穰

ホールデン臺長の暗號
第四表(語句暗號)(續き)

番 號	暗 號	暗 號 解
51108	depute	何卒觀測二回分郵便にてお送りを乞ふ
51109	deride	〃 三回分 〃
51110	desert	何卒郵便にて軌道要素並びに豫報位置お送りを乞ふ
51111	design	本年に於ける出来る丈け早い觀測を電報にてお知らせを乞ふ
51112	desist	本年に於ける成る丈け遅い觀測を電報にてお知らせを乞ふ
51113	despot	何れの觀測にても宜しく電報にてお知らせを乞ふ
51114	detail	何卒觀測二回分電報にてお知らせを乞ふ
51115	detect	〃 三回分 〃
51116	detest	何なりとそれに關する材料を電報にてお知らせを乞ふ
51117	device	何卒電報にて軌道要素お知らせを乞ふ
51118	devoid	何卒電報にて豫報位置お知らせを乞ふ
51119	devour	何卒電報にて軌道要素並びに豫報位置お知らせを乞ふ
51120	differ	——により發見せらる(何日、——に於て)
51121	digest	——により觀測せらる(何日、——に於て)
51122	delate	——により計算せらる(場所、時)
51123	dimple	變光星、——の乾板上にて發見せらる
51124	dipper	新星、—— 〃
51125	direct	その星の(天體の)變光すること——により發見せらる (何日、——に於て)
51126	disarm	新星——により發見せらる(何日、に於て) 51144を見よ。 又51147-8をも見よ 注意 上記二項は次の如き三語が後に來る筈である 1° 發見者名 2° その觀測場所 3° 第一表による日附を示す數字、(日は正午より始める)
51127	dismal	この天體は或は變光せるならん (possibly)
51128	distil	この天體は恐らく變光せるならん (probably)
51129	divert	極大の時期並びに變光週期は次の如し——

51130	divine	極小の時期並びにその變光週期は次の如し—— 注意 上記二項の次には下の様な二つの數字が来る 1° グリニツチ時にて日の百分の一まで時期を示す數字 2° 週期を日の百分の一まで示す數字
51131	docile	極小——に起れり
51132	doctor	極小——に起るならん
51133	dollar	極大——に起れり
51134	domain	極小——に起るならん 注意 これ等の次には下の如き數字が来る 1° 三數字よりなる日附數字にて地方平均日を示す 2° グリニツチ時刻を示す八數字の一群にて日の百分の一まで與ふ(G. M. T.)
51135	dotage	極大小の時期並びに週期共不明
51136	dragon	週期は小なり
51137	dreamy	週期は大なり
51138	dressy	その變光はアルゴール型である
51139	drivel	その變光は驚星座 γ 型である
51140	drover	流星の雨下只今引續き觀測せらる
51141	duster	流星の雨下現象多分グリニツチ時——に起らん
51142	fabric	流星輻射點は—— 注意 この文字の次に二つの數字群来る 1° 赤經を時、分及び分の十分の一にて示す 2° 北極距離を度と分にて示す
51143	facile	光度の變化は次の如し—— 注意 この次には次の如き八文字の數字群が来る 1° 初めの三數字は極大光級を度とその十分の一にて示し 2° 最後の二數字は極小に於ける光級を示すために極大の光級に附加すべき數字を示す 例 BD+1°.3408 の變光をケンブリヂに於て 2月17日ソーヤーによつて發見せられ、その極小期は7月17日 15 ^h 45 ^m (グリニツチ時) 而して週期は 0d 20h である。變光は 6.0より6.8の範圍にてアルゴール型である。 以上の事實は次の如くに表はされる Direct 星の變光——により發見せらる Sawyer Cambridge (にて) Don 2月17日=48日 baboon ボン掃天表 Bakiptik 赤緯+1°, 光度6.0 Dapafra 星帶番號3408

		Divine 極小時期は Lonitous 7月17日 15h 45m=198.65 Bafomous 週期は0.d83 Facile 光度の變化は Fafafra 極大光級6.0, 極小は6.0+0.8=6.8 Dressy 變光はアルゴール型
		注意 同様の電報は正しくこの順序により發送する様注意ありたし 急に出現した(今も出てゐる)
51144	factor	
51145	falcon	北天球に現はれるならん
51146	fallow	南天球に $\times$
51147	famish	光度は次の如し(光度10.0より明るい場合に限らる)
51148	father	$\times$ ($\times$ 暗き)
		注意 この次には一つ或は幾つかの八文字の數字群が来る 初めの三數字は日附を表はし(グリニッチ平均時を標準として) 而して後の二數字は光級を表はす。10.0より明るいものについ ては光級その儘を示す筈なれど、暗い星については光級—10.0 を示す
51149	fathom	太陽表面上に大きい、或は著しい黒點あり
51150	fatten	太陽上に著しい紅燐あり(51021を見よ)
51151	faulty	太陽表面上に水星内遊星あるらし
51152	feeble	太陽表面上に彗星あるらし
51153	feline	明るい彗星太陽の附近にあり (51021などを見よ)
51154	fencer	グリニッチ時——彗星によつて掩蔽現象ありと思はる宜しく御觀測 ありたし
51155	fender	何日(グリニッチ日附にて)、次の遊星による掩蔽現象あるべし
51156	ferret	何日(グリニッチ日附にて)の掩蔽現象を觀測ありたし
51157	fetter	月面上に於ける變動を——より報告あり(51158—61を見よ)
51158	fickle	それは Schmidt の月面圖にて $+\lambda$, $+\beta$ にあり
51159	fidget	$\times$ $\times$ $+\lambda$, $-\beta$ $\times$
51160	fillet	$\times$ $\times$ $-\lambda$, $+\beta$ $\times$
51161	finder	$\times$ $\times$ $-\lambda$, $-\beta$ $\times$
		注意 51158—61 の文字の次に来る數字はその前置數は經度 λ を、 十位數は緯度 β を何れも度にて示す
51162	finger	スペクトルは連續スペクトルである
51163	finite	$\times$ 平常である
51164	fisher	$\times$ 單色光である
51165	flagon	$\times$ 特異性のものである
51166	flashy	$\times$ 丁度彗星のものに似てゐる
51167	flaxen	$\times$ 丁度星雲のものに似てゐる
51168	flinty	星のスペクトルはセツキ第一型である

51169	floral	◯ 第二型 ◯
51170	flower	◯ 第三型 ◯
51171	fluent	◯ 第四型 ◯
51172	flurry	星のスペクトルはウオルフ・ライエ型である
51173	foment	水素線が明るい
51174	forage	水素線と D ₃ 線とが明るい
51175	forgery	スペクトルは輝線、或は輝帯を含んでゐる
51176	formal	スペクトルは暗線、或は暗帯を含んでゐる
51177	fossil	下記の線を何卒観測せられたし 注意 これ等の文字の次に來る數字はスペクトル線(或は帯)の波長を表はしミリメートルの百萬分の一の單位にて示す
51178	freely	そのスペクトル——にて撮られた
51179	frenzy	その天體は——にて寫眞に撮られた
51180	frigid	その附近は——にて寫眞に撮られた
51181	frolic	その天體は當所にて寫眞に撮られた
51182	frosty	そのスペクトルは當所にて 寫眞に撮られた
51183	frugal	その附近は ◯ ◯
51184	fuller	その天體は白色である
51185	funnel	◯ は甚だ藍色である
51186	furrow	◯ は藍色である
51187	fusion	◯ は黃色である
51188	halter	◯ は赤色である
51189	hammer	◯ は甚だ赤色である

訂 正

前號の木村博士の「緯度觀測事業」の文は、編輯者の誤りで、間違ひがありましたことが知れ、博士に對し、又、讀者に對し、深く御詫び申し上げます。『編輯』の名を以つて前文に掲げました6號組みの文は、米國方面の噂話が全く無根のことであることを誤り傳へました次第、何とも御詫びの申しやうもありません。以後特に謹みます(山本一清)